日本イスパニヤ学会2023年度第3回理事会議事録

日時：2023年10月14日（土）10:30〜11:45

場所：中央大学多摩キャンパス　フォレストゲートF502教室

出席者：安保寛尚、江澤照美（監査）、糸魚川美樹、松本健二、中井博康、仲井邦佳、成田瑞穂、

西村君代、野村竜仁、大楠栄三、大森洋子、高松英樹、竹村文彦、立岩礼子、土屋亮、

山村ひろみ、安富雄平（ABC順）

欠席者：上野勝広（監査）

議題：

＜審議事項＞

1. 前回議事録の承認
・2023年度第2回理事会（7月30日開催）の議事録案が承認された。
2. 2023年度第69回大会開催について
・大会実行委員長高松理事より、大会参加証明の取扱い、合同テーマ（文化・文学・言語）による分科会の実施、各分科会司会への依頼事項について説明があり、最終確認が行われた。
3. 総会議題の承認
・2023年度大会総会の報告・審議事項を以下のとおり進行する旨が確認された。
報告事項
4. 物故会員・元会員
5. 新入会員の紹介(2022.9～2023.9)
6. 第18回学会奨励賞
7. 学会会報第30号発行
8. 機関誌*HISPÁNICA* 第67号発行
9. 「日本イスパニヤ学会機関誌投稿規程」改訂
10. 「日本イスパニヤ学会研究発表規程」改訂
11. 2024年度第70回大会開催校
12. その他

審議事項

1. 新規名誉会員の推薦
2. 2022年度会計報告
3. 2022年度監査報告
4. 2024年度予算案
5. その他
6. 「学会奨励賞規程」の改訂について
機関誌編集委員長野村理事より資料に基づき、規程改訂案、奨励賞審査委員会の構成案、奨励賞内規案および応募用紙修正案の説明があり、以下のように審議、決定した。
・「日本イスパニヤ学会奨励賞規程」について、審議の結果、改訂案が承認された。
・審査委員会の構成について、審議の結果、公平性の担保と質保証の観点から構成員の人数がより多い案（編集委員会選出の査読者2名、理事会選出の専門家1名、編集委員長の計4名）が採用され、それを反映した内規案が承認された。
・論文の投稿電子化にともない、奨励賞への応募は投稿時に論文とともに指定の用紙を送付する形式に変更することが承認された。応募用紙は軽微な修正を加えた上で承認された。
・承認された奨励賞改訂案は後日学会HPにアップされ、総会でも報告されることになった。
7. 次回理事会の開催日程
・2024年4月14日（日）13:00（予定）〜　Zoom利用によるオンライン会議で開催する。
8. その他
・糸魚川理事より学会HPがSSL化非対応である点について問題提起があった。理事会としても問題を認識しており、解決に向けて今後事務局（ガリレオ）とも協議していくことが確認された。また、本件については総会で報告されることになった。
・立岩理事より、大会の発表申し込み数が少ない場合の対応について問い合わせがあった。申し込み期間の延長が可能であり、延長については理事会メーリングリストで報告されることが確認された。

＜報告事項＞

1. 会員異動
・2023年7月から2023年9月までの新入会員は4名、退会者は1名であったことが報告された。2023年10月1日現在の会員数は345名＋19機関である。
2. 機関誌*HISPÁNICA* について
・編集委員長野村理事より、機関誌に投稿のあった論文6本、研究ノート1本のうち、論文2本の掲載が決定したこと、例年どおりのスケジュールで1月刊行に向けて作業を進めている旨報告があった。
3. 学会会報について
・広報委員長中井理事より、会報第30号が10月1日付で発行されことが報告された。発行部数は360部、大会受付での配布のほか学会HPへの掲載も完了している。また今後、会報の配布方法や電子化などについて広報委員会で協議を進めていく予定であることが報告された。
・会報の電子化に関連し、高松理事より総会資料の電子化についても検討を求める意見があり、時期理事会への引き継ぎ事項とすることになった。
4. 「個人情報取扱方針」について
・庶務委員西村理事より、第2回理事会で承認された「個人情報取扱方針」について事務局（ガリレオ）と協議した結果、修正が必要であることが報告された。本方針については次期理事会にて継続審議されることになった。
5. 2022年度監査報告
・江澤監査より2022年度会計報告について、異常なきものと認める旨報告があった。
6. その他
・特になし